

淀川水系流域委員会は、消滅するのか

尼崎市 細川 ゆう子

淀川水系流域委員会の三期委員の任期が、7月で切れる。「次期委員会をどうするのか」と、すでに3月から委員会は問いかけているが、河川管理者は何も答えていない。

任期切れまで1ヶ月と21日、次期委員の選定は間にあうのか？これまでの委員選定の経緯と比較してみる。(別表参照)

一期委員を選定したのは準備会議で、「委員会はどうあるべきか」から議論しているのだから、委員の選定について公募方法などを話し合ったのは第2回からである。それでも、委員会設立の4ヶ月前になる。直後に公募が開始されている。公募(自薦・他薦)、準備委員の推薦、河川管理者の推薦の中から委員を選ぶのに、さらに2回会議をしている。

二期委員は、再び4人の準備委員と委員会外部の1人の計5名の委員候補推薦委員会が、継続の委員、新規の委員のすべてを選んでいる。第1回は次期委員会開始の4ヶ月前、公募は3ヶ月前、やはり2回の会議で、委員を選定している。

三期の委員は、二期委員会の休止、レビュー委員会を経て、2回の委員候補推薦委員会で、新規委員候補の推薦のみが行われ、二期からの継続委員、新規委員ともに、最終的な決定を行ったのは、河川管理者である。それまでの会議が、公募の方法や期間などを、そのつど話し合ったのに比べ、この委員候補推薦委員会は河川管理者の指示通りに、新規候補の中から定員の2~3倍にしぼっただけである。一応公開したという形式を踏むために設置したとしか考えられない。実際、公募が始まったのは、第一回の委員候補推薦委員会の開催前なのである。公募期間中、締め切り直後の2回、わずか2週間で役割を終えた。それでも、公募とともに、2ヶ月前には開始されている。委員候補推薦委員会の推薦候補の中から新規の委員と継続の委員を選ぶのに、河川管理者は1ヶ月を要した。

前回どおり、公募期間を15日、その後委員候補推薦委員会の推薦を受けて委員の選定を行うのであれば、河川管理者は今日にも公募を始め、委員候補推薦委員会を立ち上げなくてはならない。それをしないのなら、考えられるのは、次の3つである。

1. 一期の時のように、そのまま2年間、委員の任期を延長する。
2. 公募、委員候補推薦委員会のどちらもやめ、河川管理者が勝手に次期委員を選ぶ。
3. 淀川水系流域委員会は、永久に葬る。

単に任期を延長するのは、そうする理由がない。公開という手続きを踏まず(前回もすでに建前に成り果ててはいたが)、河川管理者が勝手に委員を選ぶのなら、それはもはや「淀川水系流域委員会」とは呼べない。単なる御用委員会に「淀川水系流域委員会」を名乗らせるぐらいなら、いっそ打ち切ってくれた方がましである。いずれにしても明白なのは、河川管理者の意欲のなさである。

改正河川法こそは、彼らをもっとも守るべき法律ではなかったか。どうやら河川管理者OBからの指示は、法律より重いらしい。それを河川管理者自身が断ち切る勇気を持たなければ、川づくりは変わらない。

今、これまでどおりの流域委員の選定を行えるかどうかの瀬戸際に立っている。河川管理者の勇気を願う。CHANGE! YES, WE CAN! なのだ。

淀川水系流域委員会委員選定の比較表

	準備会議	委員候補推薦委員会	委員候補推薦委員会
推薦の対象	第一期流域委員会委員全員	第二期流域委員会委員の全員。(一期からの継続と新規の委員)	第三期流域委員会の新規委員のみ(継続の委員は、河川管理者が選定)
事務局	流域委員会庶務(コンサルティング会社)	流域委員会とは別のコンサルティング会社	河川管理者
委員構成と数	河川工学、水文化、環境、法律(後に流域委員)の4名	準備委員(流域委員)の4名と事業評価の1名	河川工学、財界、環境、法律の4名(流域委員2名)
委員候補募集の方法	河川管理者の推薦 225 準備委員の推薦 116 公募(自薦・他薦) 83	河川管理者の推薦 39 委員候補推薦委員の推薦 47 公募(自薦・他薦) 62	河川管理者の推薦 49 委員候補推薦委員の推薦 18 公募(自薦・他薦)20(総数 50)
委員数	55名	28名	24名
委員構成	治水 4 利水・利用 6 環境 20 人文・経済・社会 23 (地域の特性に詳しい委員) (16)	治水 6 利水・利用 4 環境 7 人文・経済・社会 11 (住民連携) (5)	治水・防災 6 利水・利用・町づくり 6 環境 6 人文・経済・社会 6 (住民連携) (4)
年齢制限	年齢制限なし	68歳未満	68歳未満
開催期間 開始時期	00.7.26~01.1.10(5.5ヶ月) 一期委員会設立の6ヶ月前	04.9.28~05.1.18(3.5ヶ月) 二期委員会開始の4ヶ月前	07.6.1~6.14(0.5ヶ月) 三期委員会開始の2ヶ月前
開催回数	5回(委員会の枠組み含む)	3回	2回
公募期間 公募開始	00.10.4~10.10(7日間) 一期委員会設立の4ヶ月前	04.10.25~11.8(15日間) 二期委員会開始の3ヶ月前	07.5.28~6.11(15日間) 三期委員会開始の2ヶ月前
選定方法	225名の候補の中から河川管理者を入れない予備審議の上、公開の会議で確定。	一期委員の中から、まず継続すべき委員を選び、新規候補137名より13名を選定。承諾ならば全員委員とする。	81名の中から、新規定員8~12名の倍以上、29名を推薦。
選定の透 明性	選定結果と選定経過、選定理由を会議で公表(選定理由は、口頭のみ。候補の了解を得て、第4回では氏名も公表)	選定結果のみ推薦委員会で公表	推薦委員会が新規定員の2倍~3倍の人数を推薦。河川管理者が非公開で選定。
確認作業	第4回で確認の上、答申	第3回で確認の上、答申	確認作業、非公開